

## 砂防事業評価委員会 議事概要

1. 日 時：平成29年3月7日（火） 10：30～12：00
2. 場 所：中央合同庁舎第3号館1階 共用会議室
3. 出席者：石川委員、大野委員、笠井委員、関戸委員、関屋委員、藤田委員
4. 議事概要
  - 平成29年度予算要求に係る砂防事業の新規採択時評価について、事務局より説明後、審議を行った。
  - その結果、事務局より説明した紀伊山系直轄砂防事業について、「平成29年度に予算化することが妥当である」とのご意見をいただいた。
  - なお、各委員より以下の意見があった。
    - ・ 平成23年の災害後、県では警戒避難システムについての検討が進められ、特に住民も交えた検討会が実施されているが、警戒避難に当たっては流域の土砂流出をある程度抑えないと、それらがちゃんと機能しない。その意味で、本事業は有効である。
    - ・ 今後どのような雨が降るか分からない中で、砂防堰堤を中心に整備する案は、柔軟に対応出来る案であり、最も現実的である。
    - ・ 集落移転はなかなか難しく、人が住まなくなると余計に山が荒れる。集落移転による案は、地元の自治体レベルでは採用出来るかもしれないが、国の事業として大きく進めるというのは考えにくい。
    - ・ B/Cの1.9について、ある想定の数値ではあるが、次回の評価に向けてどのような意味をもつ値であるか理解しやすい表現を検討することが必要である。
    - ・ この地域は過疎化が進んでいる地域であるが国土の均衡的発展のためには、必ずしも経済効果に含まれないところも含めて事業の効果を示すことが重要である。